

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 27 年度後期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	高橋 広行	会員番号	0034380
申請者の所属・職名	筑波大学医学医療系内科(膠原病・リウマチ・アレルギー)助教		
出席会議名	American College of Rheumatology (ACR) Annual Meeting 2015 (San Francisco)		
発表論文タイトル	DNA microarray analysis of labial salivary glands in patients with Sjögren's syndrome: comparison with IgG4-related disease		

実施結果:

私は、本演題を 2015 年米国リウマチ学会(サンフランシスコ)で発表をさせていただきました。

本研究では、DNA マイクロアレイ法を用い、同様に唾液腺に炎症を来す IgG4 関連疾患患者の口唇唾液腺と、SS 患者の口唇唾液腺の遺伝子発現を比較することで、SS の唾液腺局所において高発現する遺伝子として Nuclear receptor subfamily 4 group A member 2 (NR4A2)を同定し、NR4A2 が SS 患者の唾液腺に浸潤する IL-17 産生細胞に発現することを示しました。このことから、NR4A2 は Th17 細胞の機能制御を介して、SS 患者の唾液腺炎における病態形成に特異的に関与する遺伝子である可能性が示唆され、本学会の「Sjögren's Syndrome: Translational Insights into Sjögren's Syndrome」セッションで発表をいたしました。

本学会では、我々以外にも SS 患者の口唇唾液腺における遺伝子発現解析の発表があり、NR4A2 についても関節リウマチなど他の自己免疫疾患における機能解析の報告がありました。発表者とは、SS の分子病態や、NR4A2 の疾患特異性、その解析手法などについて意見交換を行い、貴重な情報を得ることができました。今後は、同遺伝子の、SSにおける治療標的としての可能性について、さらに研究を進めて参りたいと考えております。

末筆ながら、本学会への参加に際し、多大なご支援を下された JSI の先生方、事務局の皆様には心より感謝申し上げます。